

ニュースリリース

2026年4月10日

富士フイルムホールディングス「デジタルトランスフォーメーション銘柄(DX銘柄)」に2年連続選定

CEO主導のDXビジョンと、AI・データ活用でのビジネスモデル変革が評価

富士フイルムホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長・CEO:後藤 禎一)は、このたび、経済産業省と東京証券取引所及び独立行政法人情報処理推進機構が選定する「デジタルトランスフォーメーション銘柄2026」(以下、「DX銘柄2026」)に選定されました。今回の選定は、経営戦略に組み込まれたDX推進と、データ基盤整備・積極的な情報発信が高く評価されたものです。なお、昨年に続き、2年連続4回目の「DX銘柄」選定となります^{*1}。



「DX銘柄」は、デジタル技術を前提として、ビジネスモデルなどを抜本的に変革し、新たな成長・競争力強化につなげていく「DX」に取り組む企業を選定するものです。今年度は30社が「DX銘柄2026」として選定されました。

当社は今回、特に以下の取り組みが高く評価され、「DX銘柄 2026」に選定されました。

- 経営トップ自身が主導して「DXビジョン」を策定。トップの強いコミットメントのもと全社に浸透を図るとともに、全社横断のAI活用の仕組みや共通データ基盤、ガバナンス体制を整備し、AIを成長の原動力として製品・業務両面で着実なDX推進をしている。
- 独自のAIやデータ基盤を整備し、それらを活用して医療AIや材料／プロセスインフォマテクス、ビジネスイノベーションの分野において、製品・サービスのIT化と新たな事業展開を進めることでビジネスモデル変革を着実に推進している。
- DXビジョンに基づき、求められる人材像とスキルを明確化したうえで、基礎リテラシーから専門人材までをカバーする体系的な人材育成プログラムを整備し、社員のDXリテラシー向上という具体的な成果を着実に上げている。

Cookieの利用について

このウェブサイトはクッキーを使用しています。このサイトを使用することにより、プライバシーポリシーに同意したことになります。[プライバシーポリシー](#)

—

*1 当社は「DX銘柄」において、2020年、2022年、2025年に選定されています。また、関連する制度として「攻めのIT経営銘柄」(2017年、2018年)や「DX注目企業」(2024年)にも選定されています。

富士フィルムグループのDXの取り組みについて

お問い合わせ	報道関係	DXの取り組みについて
	富士フィルムホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ TEL 03-6271-2000	富士フィルムホールディングス株式会社 ICT戦略部 E-mail: fh-dx_program_office@fujifilm.com

* 記事の内容は発表時のものです。最新情報と異なる場合(生産・販売の終了、仕様・価格の変更、組織・連絡先変更等)がありますのでご了承ください。

[富士フィルム広報 X\(旧Twitter\)](#)

[一覧へ戻る](#)

©富士フィルムホールディングス株式会社

Cookieの利用について

このウェブサイトはクッキーを使用しています。このサイトを使用することにより、プライバシーポリシーに同意したことになります。[プライバシーポリシー](#)